

出水期に向けた連絡事項

令和5年 5月29日

行動記録様式とは

- 出水対応の際、何時に、どのような防災行動項目行ったかを記録する様式です。(クロノロ)
 - 出水後の検討会で、タイムラインの改善を目的とした振り返りを行う際、資料として使用します。
- ※機関でクロノロを作成されている場合は、新たにこの様式での整理いただく必要はございません。
様式をお持ちでない関係機関の方は、対応の記録にご利用ください。

使用方法

タイムライン運用記録様式

機関名：

no	月日	時	分	実施した者	情報伝達に関して		情報伝達内容・行動内容
					誰への伝達？ 誰からの情報？	連絡方法等	
1	7/5	17	46	事務所長	安佐北区長へ	電話	太田川本川・根谷川・三篠川の今後の見通しの情報提供。
2	7/6	19	00	太田川河川支部			根谷川右岸4k200において、堤防の浸食が発生を確認。現在、出張所と維持業者が現地で状況を監視中。
3	7/6	19	00	太田川河川支部		メール	応急対策について、業者及び資材を手配した。
4	7/6	19	00	事務所長	広島副市長から	電話	副市長から、以下の連絡。 三篠川で落橋した鳥声橋に水道管を添架していたが、断水した。新橋に添架する相談に来所したい。
5							
6							
7							
8							

防災行動をとった日時を記載してください。

防災行動を実施した方について記載してください。

情報を伝えた場合は伝えた相手、情報を受けた場合は情報提供者を記載してください。また手段も記載してください。

実施した防災行動項目を記載してください。情報伝達を行った場合は、伝達された情報概要も記載してください。タイムラインに記載のない項目についても記入してください。
ただし、「気象情報の収集」等、実施しつづける項目については最も早く行ったタイミングの記載だけで結構です。

行動記録様式

- 本日の検討会資料を配布したメールに添付して、PDFデータとエクセルデータをお送りしております。使いやすいデータをお使いください。
- 記録様式については、出水毎に記録いただき、次の検討会（実洪水による振り返りを実施予定）前にご提出の依頼をさせていただきますので、それまで保存をお願いいたします。

昨年度まで

平成29年11月6日
「太田川水防災タイムライン検討会」発足式

平成29年12月～平成31年2月
・タイムライン勉強会、現地視察
・検討会、WG(意志決定グループなど) タイムライン策定に向けての意見交換・課題抽出
・平成30年7月豪雨災害の振り返り

平成31年3月19日(完成式)
太田川水防災タイムライン(平成31年度版)の完成

令和元年6月～令和5年3月
・タイムライン(平成31年度版～4年度版)の確認、運用体制の確認、改善案作成
・高ステージを想定した訓練の実施

令和5年5月29日(第16回検討会) タイムライン(令和5年度版)の確認、運用体制の確認

令和5年12月頃(第17回検討会) 実際の出水で運用、振り返りにより課題抽出、改善案作成

令和6年1月以降(第18回検討会) 太田川水防災タイムライン(令和6年度版)の策定

タイムラインを運用し、PDCAサイクルにより継続して防災対応の精度向上を図っていく

今年度